

サントリー天然水専用 保管・配送拠点

## 長野に「安曇野営業所 第2倉庫」完成

AGF 導入で倉庫2階フロア全体の無人化を実現、労働力不足に対応

鴻池運輸株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦、以下 鴻池運輸）は、サントリー天然水専用保管・配送拠点「安曇野営業所 第2倉庫」（長野県安曇野市）が完成し、2024年4月23日（火）に竣工式を実施しました。当倉庫2階にはレーザー誘導方式無人フォークリフト（Automated Guided Forklift、以下 AGF）を導入し、2階フロア全体を無人で運用します。

安曇野営業所 第2倉庫は、「サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場」の、サントリー天然水製造2ライン目稼働に伴うサントリー天然水専用保管・配送拠点として、既存の第1倉庫※に隣接する場所に増設した倉庫です。第2倉庫2階にはAGF 6台を導入し、製品の入出庫・保管作業を自動化します。フロア全体の無人化は、鴻池運輸の倉庫では今回が初となり、物流現場の慢性的労働力不足に対する取り組みの一環となります。

※ 関連報道発表：2021年3月18日 <https://www.konoike.net/news/detail/20230928023107.html>

### 【4月23日竣工式での代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦の挨拶（抜粋）】

安曇野営業所 第2倉庫は、2階フロア全体を6台のAGFで荷役します。フロア全体の無人化は、鴻池運輸の倉庫では初めてで、物流業界の2024年問題の労働時間規制もある中、物流現場の労働力不足に対する課題解決策の一つの手法となり、さらに安全性・生産性の向上などにも寄与致します。ひいては、サントリー天然水の安定供給に貢献できるものと期待しています。今後も安全で安心できる物流サービスを提供できるよう、全員一丸となり努めてまいります。



■安曇野営業所 第2倉庫概要と特徴

	第2倉庫	(ご参考) 既存 第1倉庫	(ご参考) 安曇野営業所倉庫全体
延床面積	11,000 m <sup>2</sup>	19,100 m <sup>2</sup>	30,100 m <sup>2</sup>
規模	鉄骨造り2階建倉庫	鉄骨造り1階建倉庫 (事務所2階建)	—
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階にAGF6台を導入し、フロア全体を無人化</li> <li>・倉庫全体の使用電気は太陽光発電を活用</li> </ul>	出荷予約システムを導入し、ドライバーの待機時間を極小化	—
竣工日	2024年3月28日	—	—
稼働日	2024年4月23日	—	—
取扱品	サントリー天然水(北アルプス)		
所在地	長野県安曇野市穂高牧1110		

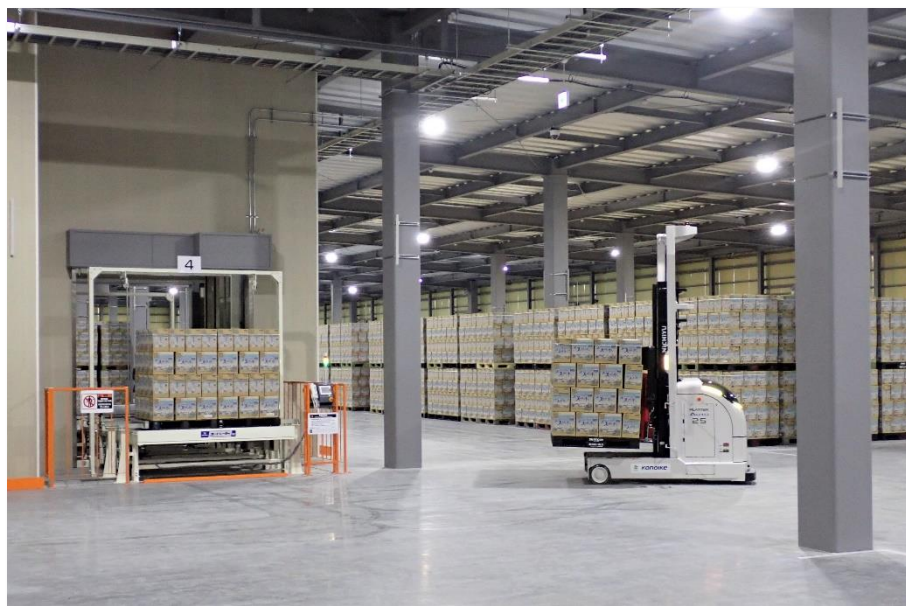
■安曇野営業所 倉庫(外観)



■安曇野営業所 第2倉庫(外観)



■安曇野営業所 第2倉庫2階 AGF6台導入で無人化、労働力不足に対応



■鴻池運輸株式会社の概要 (<https://www.konoike.net/>)

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証プライム市場	代表者	代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪市中央区伏見町 4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880（明治13）年5月	会社設立	1945（昭和20）年5月30日
資本金	1,723百万円	従業員数	約24,000名（連結） ※臨時雇用者数を含む
売上高	311,840百万円（連結）	営業利益	13,243百万円（連結）
事業内容	鉄鋼事業、エンジニアリング事業、食品関連／定温物流事業、食品プロダクツ関連事業、生活関連事業、メディカル事業、空港事業、国際物流事業、インド事業		

※資本金、従業員数、売上高、営業利益：2023年3月31日現在。

●本ニュースリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

（報道関係者様お問い合わせ先） 広報室 古屋、<sup>じくはら</sup> 竺原 tel:03-3575-5753